

令和6年度「自己評価報告書」

社会福祉法人愛護会
たんぽぽ保育園

1、保育目標

- 健康で明るい子ども
- 豊かな心を持つ子ども
- 自分のことは、自分でできる子ども
- 他人のことを考え、協力できる子ども
- 何故だろうと考え、物事に疑問を持つ子ども
- 自然に親しみ、愛することのできる子ども
- 人の話をしっかり聞き、自分の言葉で話せる子ども

2、施設運営の重点課題

- ① 豊かな自然体験や社会体験の中で、たくましい子を生み育てる保育の実践を行う。
また、世代間交流や異年齢交流を積極的に行い地域の人との交流を持つ中で思いやりや優しさなど心の発達を促し、地域に根差した保育を行う。
- ② 郷土文化伝承活動として「鬼剣舞」を保育に取り入れる。
- ③ 「食を営む力」を育むため、保護者、地域との連携を深め、食べることや畑づくり、クッキング等を通して、子どもの健やかな成長発達を促す。また、年々増えるアレルギー児への対応として、保育士・栄養士・看護師が情報共有し、食事支援をすすめる。
- ④ 保護者の保育体験や個別面談、保護者講演会を通して、保育園と家庭と共通理解を図りながら、保護者支援を行う。
- ⑤ 自己評価の学習・実践・振り返りや職員研修を通して、保育の質の向上を目指し「子どもの最善の利益」を保障する保育を提供する。
- ⑥ 金ケ崎町や関係機関との連携を図りながら、子育てネットワーク作りを進め、療育教室や一時保育事業を行い、地域の子育て支援を行う。
- ⑦ 既存の建物の老朽化による建て替えに向けて、関係機関と連携を図りながら計画的にすすめる。

3、評価項目と取り組み状況

評価の基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

自己評価項目		評価	取り組み状況
1	豊かな自然体験や社会体験の中で、たくましい子を生み育てる保育の実践を行う。また、世代間交流や異年齢交流を積極的に行い地域の人との交流を持つ中で思いやりや優しさなど心の発達を促し、地域に根差した保育を行う。	A	・散歩、草花遊び、虫探し、泥んこ遊びやプール遊び、雪遊びなど戸外での遊びを存分に楽しんだ。年長組は青少年の家に2回出かけ自然に触れる体験を行ない、それを園内の行事で小さい子たちとの遊びに取り入れ、また発表会などでイメージを膨らませ興味や関心を膨らませ活動を広げた。 ・七夕まつり、収穫祭、小正月行事は、老人クラブの方々を保育園に招待し交流を楽しんだ。

2	地域の昔から伝わる踊り「鬼剣舞」を保育に取り入れる	B	・地域に伝わる「鬼剣舞」を年長組の保育に取り入れ、運動会や地域の行事で披露した。
3	「食を営む力」を育むため、保護者、地域との連携を深め、食べることや畑づくり、クッキング等を通して、子どもの健やかな成長発達を促す。また、年々増えるアレルギー児への対応として、保育士・栄養士・看護師が情報共有し、食事支援をすすめる。	A	・畑で収穫した野菜で何を作りたいか話し合いをし担任や栄養士と一緒にクッキングを行った。料理を作る過程を見ることが子どもたちは興味を持ち食への関心を深めた。 ・栄養士、調理員は、毎日のように交代でクラスを回り、食事状況を見て歩き、食育指導ができた。 ・アレルギー児へは、除去代替食連絡帳を活用することで、保護者と園と情報共有をおこない食事支援を行った。
4	保護者の保育体験や個別面談、保護者講演会を通して、保育園と家庭と共通理解を図りながら、保護者支援を行う。	B	・保護者保育体験は保護者の希望に添い対応し73組が参加した。個別面談は全員行うことが出来た。 ・年長組保護者講演会は、子どもと一緒に話を聞くことで一緒に取り組む意識に繋がった。0.1.2歳児の保護者講演会がなかった。
5	自己評価の学習・実践・振り返りや職員研修を通して、保育の質の向上を目指し「子どもの最善の利益」を保障する保育を提供する。	A	・保育日誌は、エピソード記述を用い、子どもの感動・気づき・葛藤などへの寄り添いや保育の関わりの振り返りとなり、次の保育の手立てへとつなげた。 ・園内研修として子どもの権利についての学習や最善の利益について学習を深めることで保育の質の向上を図った。
6	金ケ崎町や関係機関との連携を図りながら、子育てネットワーク作りを進め、療育教室や一時保育事業を行い、地域の子育て支援を行う。	A	・延長保育・障がい児保育・一時保育・病児保育・療育教室を行った。保護者支援研修、発達支援研修、苦情対応研修虐待研修など様々な研修に参加しながら、保護者対応には担任以外の職員も入り面談を行い、それぞれの分野で専門職を活かし対応した。 ・関連機関との連携を図り、他機関や職員、保護者間での共有や共通理解を図り対応した。
7	既存の建物の老朽化による建て替えに向けて、関係機関と連携を図りながら計画的にすすめる。	C	・老朽化している既存部分の建て替えに向けて、金ケ崎町との協議に時間がかかり思うように進まなかった。老朽部分はこまめに確認し、安全に過ごせるように気をつけた。